

知っていますか？ 現中学3年生から 大学入試方法が変わります

下館第一高等学校は昨年度から大学 入試改革に対応した準備を始めています

平成32年度より、現在の大学入試センター試験に変わり、「大学入学共通テスト(仮称)」が実施されます。マークシート形式の問題に加え、国語と数学では記述問題が採用される予定です。また、英語は「読む・書く・聞く・話す」の4技能を評価できる民間試験(英検等)で代替する案も提案されています。

高大接続システム改革の概要

コンピュータが発達し、グローバル化が進展する未来では30年後には、多様な職種がロボット化され現在ある職種の65%がなくなると言われています。そうした時代の変化に対応するには、高校も大学も、知識をつめ込むだけでなく、積極的に使いこなすような力量を身につける必要があります。

特徴

アクティブ・ラーニングの視点から授業方法を改善し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。それにより、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成します。

学習指導要領改訂

大学入学共通テスト

特徴

グローバル化、技術革新で社会・職場が大きく変化する時代に対応するため、知識の量だけでなく、思考力・判断力・表現力を問う入試制度へ改革します。

高校生のための学びの基礎診断

特徴

高校生が身に付けるべき基礎学力の確実な育成のための新テストです。AO入試や就職試験への活用を想定し、生徒の学習意欲の喚起、学習の改善を図ることを目指しています。

下館第一高等学校の取組み

本校では平成27年度より、茨城県の「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」の重点校に指定され、「紫西グローバルチャレンジ」の名称のもと、海外修学旅行等の事業を行い、生徒一人ひとりの自己実現を支援しつつ、地域と世界をつなぎ、地域振興に貢献するグローバル(Global+Local)リーダーの育成を目指しています。



海外修学旅行(グアム)



ブリティッシュヒルズ'研修

入学後すぐに行う宿泊研修です。英語だけしか話せない環境で、積極的に話す姿勢を身につけます。

夏休みに行う10日間の語学研修です。カナダ・バンクーバーでホームステイし、英語の実践力を鍛えます。



カナダ語学研修

授業改善の取組



本校では昨年度から「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、学校経営計画にもアクティブ・ラーニング(AL)の視点による授業改善を盛り込み、職員研修を進めています。昨年度は、外部講師を招いての校内講習会の他、延べ62名の教員を外部研修会に派遣し、授業改善に取り組んできました。今年度も、継続して授業改善に取り組んでいきます。

学習環境の整備

本校では昨年度、教室の1つに電子黒板を設置し、その活用方法について研究を進めてきました。電子黒板活用法研修会の他に、公開授業を実施し、実際に授業でどのような場面で使用すると効果的かなどについて学びました。今年度は、第2学年の各教室に電子黒板を整備し、年度進行で全普通教室への設置を進めていく予定です。

